

コミュニティ活動研究会 活動記録 (2016 年度)

活動名	下町こども食堂さくら参加報告 (NPO 法人台東区の子育てを支え合うネットワーク)
参加日時	2017年2月23日(木) 16時~20時30分 16:00 準備 16:30 調理開始 18:00 開店 20:00 閉店&かたづけ 20:30 終了
場所	台東区橋場1-35-7 さくら荘
参加者	坂田博久さん、河合玉美さん、川口真理子さん (SB 研)、古根村正 (記録)、
報告者氏名 (期)	古根村正 (9期生)
訪問目的	・こども食堂の運営、来場者、食事等について実際に現場にて参加し体験して知る
主催者 HP	https://taitokonet.jimdo.com/下町こども食堂-さくら-千束/ https://ja-jp.facebook.com/taitokonet/ http://rssc-dsk.net/archives/6127
活動の経緯	<p>「NPO 法人台東区の子育てを支え合うネットワーク」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・RSSC5期生コミ研 OG の石田真理子さんが理事長を務める団体 「NPO 法人台東区の子育てを支え合うネットワーク」(通称: たいとこネット) ・現在は台東区内で無償学習支援「あすなる」、子育てプチカフェ、こども食堂(千束、さくら)、自然体験と遊びの場づくり、子育て講座・イベントの開催 <p>---</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2003年8月台東区内の子を持つ親たちが集まって任意団体として活動開始、子育て情報誌・プレーパーク、環境教育講座等を開催 ・2015年2月 石田さん RSSC5期生修了後、活動を拡大しNPO化 ・「場所がない」、「お金がない」、「人手がない」から活動をはじめ 子供たちの『笑顔とありがとう』をやりがいにより多くの協力者を得て頑張っている <p>石田 真理子さんのメッセージ</p> <p>こどもは親や自分の育つ環境を選ぶことはできません。すべての子供たちが少しでも幸せな子供時代を過ごしてほしい、そんな願いを込めて地域で子育て支援の活動を行っています。</p> <p>---</p> <p>「下町こども食堂さくら」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2015年10月22日こども食堂さくらのオープン(こども11人、大人13人参加) ・同10月23日(金)NHK「おはよう 日本」で紹介 ・毎月第4木曜日開店(他に“下町こども食堂千束”も毎月第2水曜日実施) ・社会福祉法人・子どもクラブ・児童館・小学校との連携 <p>---</p> <p>※コミ研では昨年開催の池袋西口公園フリーマーケットでの売上金の一部を寄付</p>
子ども食堂について	<ul style="list-style-type: none"> ・大田区東矢口にある“気まぐれ八百屋だんだん”の近藤博子さんが始める。 親が仕事で遅くなり一人寂しく夕食を食べる「孤食」の子供たちのために、子供が1人でも気軽に入れる食堂、みんなでわいわい、競い合って、楽しく食事ができる近所の



	<p>“おばちゃんち”のような食堂を作りたい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・その後、豊島区の「<u>要町あさやけ子ども食堂</u>」の活動がテレビ・新聞で大きく取り上げられ、各地で子ども食堂オープン。 <p>---</p> <p>※「要町あさやけ子ども食堂」にはコミ研 OG の“村上富士子さん”も活躍中</p>
感想	<p>坂田博久「皿洗いだけで料理をしたことがない私が、ジャガイモ皮むき等体験、子供たちの「おいしい」の笑顔に癒され、大変楽しい時間が過ごせた。みんな毎月ここで一緒に食事するのを楽しみにしているようだ。当日のスタッフ12名を要領よく取り仕切り、参加親子35名一人一人に丁寧に声掛けして回っている石田さんの姿に、下町こども食堂への愛情・情熱を感じた。」</p> <p>河合玉美「子ども食堂」については、「子どもの貧困化」が新聞やテレビで話題になる中で何ヶ所か紹介されていたのを見たことがありました。そして機会があれば是非一度、実際に体験して自分なりに考えてみたいと思っていました。ですから今回参加することができて、とても有意義な時間でした。二時間程で40人分の食事を衛生管理を徹底しながらテキパキと作りあげていく石田さんとスタッフのチームワークと手際の良さ。メニューも野菜たっぷり栄養バランスが良くとっても美味しかったです。開始時刻になると次々に子ども達やお母さん方がいらっしゃいました。美味しいお料理を食べながらテーブル毎におしゃべりと笑顔が広がっていました。みなさんにとって安心できる「居場所」の一つになっているんだなと感じました。」</p> <p>川口真理子「数十人分の食事を時間内に仕上げるだけでも大変な作業ですが、食材などを事前に準備して、調理では陣頭指揮を執り、食事中は子どもたちやお母さんたちの話し相手になるなど、石田さんの八面六臂の活躍には頭が下がります。時間がない中でも焦らず、怒らず、終始にこやかに周囲の人たちの話かける姿は、ぜひ見習いたいものです。子ども食堂以外に学習支援もなさっているそうですが、石田さんは本当にステキな方でした。こうした機会を与えていただいた坂田さんにも感謝です。興味がある方は、ぜひ石田さんの子ども食堂にお手伝いに行ってみてはいかがでしょうか？ 私たちもできた料理を食べさせていただきましたが、とってもおいしかったですよ！」</p> <p>古根村正</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調理などを全くしない私が、エプロン、三角巾、マスク姿で「たまねぎ・ジャガイモ皮むき、ゆでたジャガイモつぶし」と格闘し、“うまい、はやい”とほめられました ・石田さんをフォローするすばらしい仲間のスムーズな動き（開店18時に間に合え）に感動、40人分の食事を手際よく時間ちょうどに完成、神業でした ・18時ちょうど（実は少し前）、待ちきれず開店を楽しみにやってくる子供たちの笑顔、この笑顔があるから、石田さんやスタッフの方々は続けられるんですね。そしてスタッフのテーブルへの巡回と会話、すべてが良くできています。 ・衛生面にはメンバーは最大限に気を使っていました。スタッフはもちろん、食事をとる人も完全手洗い励行です。 ・元気に“おかわり！”のこどもたちも、食べ残しに石田さんのプチ怖い顔でこどもたちは完食へ、ここで食べると好き嫌いがなくなりそうですね。 ・かえりにはおみやげもらって“ありがとう”と元気よく、“またくるね”。 ・今日も食材提供者に感謝です。皆さんの善意で支えられているんです。 ・メニューは「ハンバーグ、ポテトサラダ、シュウマイ、かまぼこ、大学芋、ブロッコリ野菜スープ、ライス、ミネラルウォーター」、私の自宅の食事より豪華だ。

- | | |
|--|--|
| | <ul style="list-style-type: none">・子ども 100 円（食器洗い手伝うと返金）、大人 300 円は安い。・私も子供の頃にあったら、毎回でも行きたい、食べたい |
|--|--|

以上

2016.01.12 版